

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	平島・元気で輝き事業
28 年度募集テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 『笑顔』 <input checked="" type="checkbox"/> 『場づくり』 ※該当テーマに <input checked="" type="checkbox"/> してください。
テーマとの関連	<p>今後迎えるであろう超高齢社会に向けて、地域で解決できる課題は自助・互助の精神で解決することをモットーに、その課題解決のためにシニア世代と若者世代とが一緒になって活動しています。また諸活動を通じて、高齢者が元気で活躍できる場づくりにつながる事ができれば、地域住民の皆さんがきらきらと輝き少しでも住みよい地域になることを目指しています。</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>平成 27 年に地域の高齢者宅に戸別訪問をしアンケート調査を行った結果、生活でのちょっとした困りごとのお手伝いや、気軽に寄り合える場所が必要とされていることなどが判明。課題解決として以下の 4 項目で現在活動を展開中です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の場でのちょっとした困りごとのお手伝いして欲しい。・・・生活支援サービスの提供により、介護保険制度で賄えないインフォーマルサービスの実現で、高齢者が今まで通りの生活を維持することができ元気になることを目指しています。 2. 住まいの近くで歩いて行ける所に気軽に寄り合える場が欲しい。・・・公民館やコミュニティは遠くて歩いては行けない人たちのために、地域の人たちが集いやすい所に場づくりすることで、会話と笑顔が耐えないホットステーションとなり無限の可能性を目指しています。 3. 平島学区でも介護予防教室を開催して欲しい。・・・平成 21 年より地域の人たちの要望もあり 3 か月に 1 度企画実施してきている。心身の維持向上や様々なことを楽しく学びながら交流の場として公民館まで行かなくても参加することができる。結果として健康寿命を少しでも延ばすことができ元気で社会参加が続けられる場づくりを目指しています。 4. 地域のイベントなど最寄りの関連情報が知りたい。・・・意外と地域の催し物の案内などが行きとどいていないため、広く地域の高齢者向けのイベントや耳より情報を HKF ニュースで定期的に提供することで、さらに様々な交流のネットワークが広がることを目指しています。
取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 取組の対象 <ul style="list-style-type: none"> ・対象地域・・・平島学区 ・対象者・・・平島学区住民のうちの高齢者世帯など ・対象人数等・・・約 1500 人 2 取組の担い手 <ul style="list-style-type: none"> ・取組への参加団体・・・平島健康福祉委員会、平島小地域ケア会議 ・参加人数等・・・44 名 3 活動内容、実施方法などを具体的な活動(経緯) <p>平成 20 年、平島学区連合町内会定例会で「高齢者の課題について話し合える場」の話題が提起される。</p> <p>平成 21 年 5 月、平島安全安心ネットワークが設立される。</p> <p>平成 21 年 12 月～平成 23 年 11 月、平島健康福祉委員会の前身である有志メンバーにより、すこやか健康教室(介護予防)を各町内会毎に開催しながら、平島地区の高齢者の生の声を聴き、実態把握を約 2 年間かけて行う。</p> <p>平成 22 年 1 月、小地域ケア会議を設立し 2 か月毎に会議を開催。平成 25 年 10 月からは 3 か月毎に変更しているが現在までに 34 回開催されている。</p> <p>平成 22 年、地域保健福祉モデル事業参画。平成 24 年より平島小学校全校生徒の手作りのメッセージカードを持って“あんしんカプセルおかやま”のフォロー活動を継続して行っている。HKF の構成メンバーは認知症サポーター養成講座及び生活・介護支援サポーター養成講座を受講し修了している。</p> <p>平成 24 年 4 月、実働部隊として平島健康福祉委員会が設立され、平島安全安心ネットワークの傘下組織に加わる。すこやか健康教室を平島健康福祉研修会(介護予防教室)に改称し継続して開催している。</p> <p>平島小地域ケア会議で以前より検討されていた生活支援サービスや寄り合いの場づくりを導入に向けて具体的に検討を開始する。</p> <p>平成 27 年 2 月、生活支援について個別訪問によるアンケート調査を実施。</p> <p>平成 28 年 4 月、区づくり事業(地域活動部門)として“平島・元気で輝き事業”を開始。(添付資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※1は平島小地域ケア会議の開催とその内容 ※2はすこやか健康教室～平島健康福祉研修会の開催とその内容

<p>協働の体制</p>	<p>◎協働する各団体の役割分担や、団体間の目的の共有の仕方、対等な協働関係を築いていくための工夫など、具体的に記載してください。</p> <p>・協働の体制づくりについて</p> <p>平島安全安心ネットワークができたことによって地域の各団体との横のつながりが可能になり、顔の見える関係が生まれたこと。具体的には従来より行われていたコミュニティ協議会や体協関係の行事に加え、新たに年に数回行われる安全安心ネットワーク会議、年に1回の開催だが安全安心ネットワーク祭や振興まつり、敬老会などの行事が開催されている。このような催し物を通じて協働し合う仲間づくりが徐々に醸成され、その中で健康と福祉に関心を持つグループも形成されていった経緯がある。</p> <p>・HKFと平島小地域ケア会議の関係性について</p> <p>平島小地域ケア会議は地域の高齢者の課題提起およびその解決に向けて協議し、その方法を模索するシンクタンクの役割を担い、HKFはその課題解決のためにできる範囲で活動する実働部隊的役割を担っています。</p> <p>実際に活動した事例について HKF は月に1度定例会を開催し項目ごとにその評価を行い、その評価や課題などは3か月に1度開催される小地域ケア会議で共有化され協議されて適切な方向性を示されるような関係になっています。</p> <p>(添付資料)</p> <p>※3は小地域ケア会議メンバー</p> <p>※4はHKFメンバー</p>
<p>取組の工夫</p> <p>取組の特徴</p>	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点を記載してください。</p> <p>・協働の体制づくりで述べた通りですが、地域で開催されている数々のイベントの支援活動を通して、若い人や地域外からの転入者へ対し常に声かけを行うことで、本会の目標を実現するための賛同者を少しずつ広げることができています。特に健康と福祉に関心の高い方へは粘り強くアタックをし、人材の確保に心掛けています。そういう意味ではまさに地域は人材の宝庫であり資源の宝庫を肌で実感しています。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントを記載してください。</p> <p>・以前より長いこと時間をかけて話し合われ、かつアンケート調査の結果から解決すべき課題は明確になっているため、その解決のために活動することに異論を唱える住民は今のところおりません。また連合町内会や安全安心ネットワークの各団体との連携を保ちながら、各行事や会合を通してしっかり横のつながりを持っているため HKF の活動が地域住民にスムーズに受け入れられているのだと確信をしています。</p> <p><u>メンバー同士が心掛けている7つのポイント</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「私たちの10年後20年後を考えて・・・こうなったらいいね」話し合いを続ける。 ② 「1人から2人、2人から3人と少しずつでもいいから伝えていく」ことで人材は意外と身近なところに。 ③ 「・・・しなければならない」と思わず「何とかなるかも」と気軽に考える。 ④ 頭の中は「ぐにゃぐにゃに」常識にとらわれず「なんでもあり的思考」で考えよう。 ⑤ 「無理をしない」「頑張り過ぎない」「急がない」 ⑥ 「使えるものはなんでも使おう」 ⑦ 「今動ける人が動こう」
<p>成果・効果</p>	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを記載してください。</p> <p>・すべての活動が現在進行形であり今の時点で評価をすることは正直難しく思います。ただ10年先20年先にその成果は必ず何らかの形となって、あるいはまたデジタル化されて科学的に証明されるものと確信を持って活動をしています。</p> <p><u>平成28年11月現在での活動実績について</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活支援サービス(平成28年4月～) <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ件数：28件 ・訪問件数：16件 ・提供サービス内容：溝掃除、ゴミの整理、ゴミ捨て、電球の交換、草取り、グリーンカーテンの設置、掃除、花の水やり、枯れ木の処分、重たい家具の移動など 2. 井戸端カフェの開設 <ol style="list-style-type: none"> イ. 井戸端カフェ東平島、第2土曜日10:00～12:00(平成28年4月～) <ul style="list-style-type: none"> ・延べ参加人数：66名 ロ. 井戸端カフェ南古都、第4土曜日10:00～12:00(平成28年6月～)

	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ参加人数：69名 3. 平島健康福祉研修会（平成24年3月～） <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：15回 ・延べ参加人数：423名 （添付資料）※5は第15回HKF研修会ポスター 4. HKFニュースの発行（平成28年4月～） <ul style="list-style-type: none"> ・発行回数：3回 ・配布対象先：平島学区全世帯（約1800戸） <p>地域の横のつながりで顔の見える関係が少しずつできつつあり、それに伴い健康と福祉のネットワークも広がりつつあることを実感しています。「いいものを作ってくれて有難い」とか「今は使わなくてもいいがいつかお世話になる時が来るから安心だね」とか住民の声を耳にするとつい嬉しくなり頑張る意欲が湧いてきます。</p>
<p>今後の活動展開 など展望</p>	<p>◎成果の普及や今後の活動展開など展望について記載してください。</p> <p>活動項目の1、2、についてはPR活動も必要ですが、何といても実際に利用した方たちの口コミが重要と考えております。利用者や参加者に満足してもらえるよう、マナーと笑顔での対応など更に研鑽をして参るよう出の向上に努めています。来年度のステップアップとしては井戸端カフェを新たにもう1か所開設することと、栄養改善協議会とも連携し幅広い知識を習得しながらサービス内容の充実を図っていきたいと考えております。</p> <p>目指しているのは昔のような隣近所の声かけや助け合いです。しかし少子高齢社会の中で核家族化が進んできている現状では、地域全体で支え合う仕組みづくりは地域性こそありますが、間違いなくどこでも必要と考えています。平島の活動がたたき台となってまずは上道学区に広まることを願い、またその実現に向けて積極的に実際の活動を通して支援協力をしていきたいと考えています。</p>

平島小地域ケア会議開催記録

回数	開催日	参加人数	検討内容
1	H22.5.21	21	平島学区の高齢者の現状と課題 見守りツール”命のバトン”
2	H22.7.16	25	岡山市地域保健福祉モデル事業/サロン会 どんな取り組みができるか
3	H22.9.17	21	地域保健福祉モデル事業およびサロン会の導入について 生活・介護支援サポーター養成講座研修会について
4	H22.11.8	20	地域保健福祉モデル事業浦間・西部の取り組み 地域で見守るとはどんなことをするのか
5	H23.1.20	21	あんしんカプセルおかやま開始にあたって準備・・・具体的活動方法の検討協議 認知症サポーター要請講座の開催後の評価
6	H23.2.23	15	介護予防教室の取り組みについて あんしんカプセルおかやま配布活動の課題とその解決・・・全地区について
7	H23.3.17	16	あんしんカプセルおかやま活動状況報告と今後に向けて反省点 平島小地域ケア会議の今後の運営方法と方向性について
8	H23.5.19	20	あんしんカプセルおかやまフォロー状況の話し合い・・・事例を通して サロン会/介護予防教室及び研修会の企画について
9	H23.7.15	19	あんしんカプセルおかやま各町内の事例を通して課題解決の共有 (研)認知症への対応と取り組みについて
10	H23.9.21	20	あんしんカプセルおかやまフォロー状況と地域での見守りについて (研)認知症と成年後見制度について、近隣の福祉関連施設について
11	H23.11.17	21	あんしんカプセルおかやま/1回目の平島小学校児童のメッセージカード (研)権利擁護と成年後見制度についてその1
12	H24.1.27	18	あんしんカプセルおかやまフォロー状況の話し合い (研)権利擁護と成年後見制度についてその2(事例検討)
13	H24.3.23	18	あんしんカプセルおかやまフォロー状況の話し合い (研)権利擁護と成年後見制度についてその3(事例検討)
14	H24.5.25	20	H24年度岡山市健診状況、平島健康福祉委員会発足について 地域の課題・・・防災と避難誘導、交通事故
15	H24.7.26	18	あんしんカプセルおかやまフォロー活動のあり方・・・平島新町の事例から 「お互いさま」のススメ・安心生活創造事業について
16	H.24.9.28	17	(研)地域密着型小規模多機能ホームについて/安心生活創造事業・アンケートについて (研)虐待事例から学ぶこと
17	H24.11.16	20	(研)地域密着型小規模多機能ホームケアホステルナイスデイ視察研修 あんしんカプセルおかやま訪問活動について
18	H25.1.25	18	あんしんカプセルおかやま訪問時の2回目平島小学校児童のメッセージカード贈呈式 安心生活創造事業・アンケート内容について
19	H25.3.22	22	(研)介護保険制度について(訪問介護について・居宅介護支援) (研)成年後見制度・・・事例から学ぶ
20	H25.5.24	21	(研)介護保険制度について(訪問看護) 安心生活創造事業・アンケート内容の検討
21	H25.7.26	18	(研)成年後見制度・・・事例から学ぶ (仮称)平島型生活支援システムについて/小地域ケア会議の今後の進め方
22	H25.10.11	19	(研)介護保険制度について(福祉用具貸与・住宅改修) あんしんカプセルおかやま訪問時の3回目の平島小学校児童のメッセージカード贈呈式
23	H26.1.24	24	あんしんカプセルおかやま訪問活動を実施してその評価や課題について (研)認知症ケアについての事例検討
24	H26.4.25	21	あんしんカプセルおかやま訪問活動の事例から学ぶ/瀬戸上道福祉ネットワークについて (研)成年後見制度・・・事例検討/交通事故、万引き予防対策について
25	H26.7.25	22	(研)出前講座「在宅医療・介護のすすめ」 あんしんカプセルおかやま訪問活動について
26	H26.10.24	19	平島型生活支援システムアンケート調査について (研)困難事例から学ぶ・・・虐待
27	H27.1.23	19	あんしんカプセルおかやま訪問時の4回目の平島小学校児童のメッセージカード贈呈式 平島型生活支援システムの導入について
28	H27.4.24	23	あんしんカプセル訪問活動後の評価と課題/平島型生活支援システムアンケート調査結果 (研)地域包括ケアシステムとは
29	H.27.7.24	18	岡山市区づくり推進事業(地域活動部門)申請内容の検討 今後の活動の方向性について
30	H.27.10.23	23	あんしんカプセルおかやま訪問活動/生活支援サービス 市民後見人について
31	H.28.1.22	22	あんしんカプセルおかやま訪問活動について、「平島型生活支援システム」の導入について 平島・支え合い推進会議発足について
32	H.28.4.22	18	あんしんカプセルおかやま訪問活動/井戸端カフェ開設 岡山市区づくり事業「平島・元気で輝く事業」
33	H.28.7.22	27	見守り活動状況/岡山市区づくり事業「平島・元気で輝く事業」活動状況 事例から学ぶ「認知症」/地域包括ケアシステムについて
34	H.28.10.21	12	認知症を地域で支える仕組み/岡山市区づくり事業「平島・元気で輝く事業」活動状況 事例から学ぶ「補助・補佐・後見について」

すこやか健康教室開催記録(H.21.12～23.11)

回数	開催日	場所	対象町内会	参加人数	内容
1	H21.12.11	上道公民館	小鳥が丘 希望の丘	18	認知症サポーター養成講座
2	H.22.1.23	上道公民館	小鳥が丘 希望の丘	17	心身の健康維持のために
3	H22.2.20	上道公民館	小鳥が丘 希望の丘	18	介護保険制度の効果的利用法
4	H22.3.13	上道公民館	小鳥が丘 希望の丘	20	知っておくと便利な介護の知識
5	H22.6.20	南古都町内会公会堂	南古都・小鳥の森団地 小鳥が丘・希望の丘	22	認知症サポーター養成講座(寸劇) 介護保険サービスの利用方法は
6	H22.7.27	平島コミュニティハウス	平島学区全体	30	認知症サポーター養成講座 ストレッチ体操
7	H22.10.30	平島コミュニティハウス	平島学区全体	32	認知症って何?(寸劇) 介護保険サービスの利用方法は
8	H22.11.6	南古都町内会公会堂	南古都・小鳥の森団地 小鳥が丘・希望の丘	18	介護経験者によるお話 ストレッチ体操
9	H23.2.13	ニュー平島団地集会場	砂場・西平島・ニュー平島 生協団地・平島新町	26	認知症サポーター養成講座(寸劇) ストレッチ体操
10	H23.7.16	平島コミュニティハウス	平島学区全体	34	「老いを生きる」を聞いて座談会 介護保険サービスを上手く利用するには/遊びリテーション
11	H23.11.12	南古都町内会公会堂	南古都・小鳥の森団地 小鳥が丘・希望の丘	16	介護で困ったときにサービスを上手く活用するには 遊びリテーション/血圧・健康相談

平島健康福祉研修会開催記録(H24.3～27.6)

回数	開催日	場所	対象町内会	参加人数	内容
1	H24.3.3	平島コミュニティハウス	平島学区全体	35	薬の正しい使い方 今日から始める運動習慣! 気軽に出来る簡単ストレッチ
2	H24.7.14	平島コミュニティハウス	平島学区全体	30	地域で元気にいきいきと暮らすために～足腰鍛えて若さ維持～ 体力測定
3	H25.3.2	平島コミュニティハウス	平島学区全体	28	高齢者のための口腔ケア/岡山市健康診断状況について ストレッチ体操で若返り
4	H25.9.7	平島コミュニティハウス	平島学区全体	27	認知症寸劇/認知症に関するお話 ストレッチ体操で若返り
5	H26.3.1	平島コミュニティハウス	平島学区全体	31	ヘッドマッサージ/棒を使ったエクササイズ ストレッチ体操で若返り
6	H26.9.6	平島コミュニティハウス	平島学区全体	32	心も身体もそしてイ肌も若々しく～顔・顔のマッサージ OKAYAMA! 市民体操とお話/ストレッチ体操で若返り
7	H26.12.6	平島コミュニティハウス	平島学区全体	32	介護保険の理解と上手な使い方 ストレッチ体操/身体機能チェック
8	H27.3.7	平島コミュニティハウス	平島学区全体	37	今日からできる認知症の予防と対策 みんなで楽しく脳トレーニング/ストレッチ体操
9	H27.6.6	平島コミュニティハウス	平島学区全体	30	目指せ元気に100歳教室/介護サービスワンポイント講座 ストレッチ体操
10	H27.9.5	平島コミュニティハウス	平島学区全体	30	熱中症にならないために ストレッチ体操
11	H27.12.5	平島コミュニティハウス	平島学区全体	30	自立支援のための福祉用具・住宅改修 ストレッチ体操
12	H28.3.12	平島コミュニティハウス	平島学区全体	30	平島・生活支援サービス/そば打ち体験にチャレンジ ストレッチ体操
13	H28.6.4	ニュー平島団地集会場	平島学区全体	30	お薬の正しい使用法/介護サービスワンポイント講座 ストレッチ体操
14	H.28.9.3	平島コミュニティハウス	平島学区全体	30	私の生き方ノート/介護サービスワンポイント講座 ストレッチ体操
15	H.28.12.3	平島コミュニティハウス	平島学区全体	26	歌って笑って60分/介護サービスワンポイント講座 ストレッチ体操

平島小地域ケア会議メンバー(平島支え合い推進会議)

H.28.5.10

	所属	役職
1	連合町内会	会長
2	"	副会長
3	愛育委員会	会長
4	"	副会長
5	民生委員児童委員	
6	"	
7	"	
8	"	
9	"	
10	"	
11	"	
12	"	
13	主任児童委員	
14	老人クラブ連合会(ひまわり会)	会長
15	ひまわり会	副会長
16		副会長
17	第一寿会	会長
18		副会長
19	悠々クラブ	会長
20		副会長
21		副会長
22		副会長
23		副会長
24	健康福祉委員会	会長
25	"	副会長
26	井上内科小児科医院	院長
27	あかり薬局	薬局長
28	ケアプランいしはら	瀬戸上道ケアマネ会代表
29	岡山市上道地域担当	市民活動支援室
30	東区保健センター	平島学区担当
31	東区地域包括	平島学区担当
32	岡山市東区社協	平島学区担当

平島健康福祉委員会メンバー

	申込み団体 での役職	保有資格	性別	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	会長	ケアマネ	男	60代	平島振興事業推進協議会 元町内会長
2	副会長	保健師	女	60代	愛育委員会 栄養委員会
3	会計		女	50代	子育て広場 前主任児童委員
4	委員	看護師	女	70代	栄養委員会 栄養委員会
5	委員	体育指導員	女	60代	体育協会 栄養委員会
6	委員	看護師	女	60代	民生委員児童委員 栄養委員会
7	委員	ヘルパー	女	50代	栄養委員会
8	委員	教師	女	50代	主任児童委員
9	委員	美容師	男	30代	平島振興まつり実行委員
10	委員	看護師	女	50代	看護協会
11	委員	ケアマネ	男	40代	上道商工会議所
12	委員	針きゅうマッサー ジ師	男	40代	消防団
13	委員	ヘルパー	女	40代	有料老人ホーム経営
14	委員	1級建築士	男	60代	設計室経営 元町内会長
15	委員		女	60代	愛育委員会 栄養委員会
16	委員		女	60代	愛育委員会
17	委員		男	60代	神社総代 元町内会長
	顧問		男	70代	平島学区連合町内会会長
	監事		男	70代	民生委員児童委員委員長

平成28年3月26日 現在

第15回 平島学区 健康福祉研修会のお知らせ

日時：平成28年12月3日(土)

午前9時30分～11時30分

場所：平島コミュニティハウス

①「歌って笑って60分」

PPK88 石原 みゆき 先生

②介護サービスワンポイント講座

平島健康福祉委員会

③「脳トレとストレッチ体操で若返り」

西大寺健康づくり応援団のみなさん

※参加費は無料です 事前申し込みの必要はありません

【問い合わせ先】

岡山市東区地域包括支援センター(西大寺ふれあいセンター内)

TEL 086-944-1866 担当 鶴居 智子

主催：平島学区安全安心ネットワーク

共催：平島学区小地域ケア会議、平島健康福祉委員会、

後援：岡山市東区地域包括支援センター

